

代表質問

11月定例会市議会では、七会派の代表が、議案や市政全般についての質問を行いました。会派別にいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

市民クラブ

男女共同参画推進条例

市民意見を反映して制定へ

問 男女共同参画推進条例（仮称）の制定に向け、より多くの市民から意見を聞くべきでは。

答 法律論として耐える議論やこの問題に対する認識の広がりが必要と考えており、はがきやファックス、Eメール等で市民の意見を募集するほか、公聴会で直接意見を聞くことにより、多くの市民の意見を反映した実効性のある条例としたい。

介護保険料

所得に配慮した減免を

問 低所得の高齢者から徴収する介護保険料を、公平性に配慮し、本市独自で設定段階の見直しや減免を考へては。

答 将来的な介護保険制度の安定のため、平成13年10月からの本格的な保険料の徴収開始ま

では、実施状況を見守る方がよいと考えている。本市独自の減免の可能性を否定するものではないが、世代間の公平性の議論などをよく見極めた上で対応していきたい。

岡南環境センター

改修による再稼働に向けて

問 存続の方針が示された岡南環境センターの改修の考え方は。

答 ダイオキシン規制と焼却灰の再資源化といった環境問題へ対応するため、改修には三十億円程度の費用が必要だが、国の補助を受けることができ



ごみ処理施設の充実を願って・岡南環境センター

ば、市の実質負担額は十五年間で十五億円程度と見込まれる。同規模の焼却炉を新設した場合、（仮称）東部クリーンセンターを参考にすると約三十七億円と試算されることや、増加するごみ量への対応等から、改修の方が妥当と考えている。

新風会

PFI手法の

積極的活用を

問 PFI手法を余熱利用施設以外の分野でも活用しては。

答 当新田環境センター余熱利用施設での取り組みが成功事例となれば、厳しい財政状況の中で、官民連携により市民福祉の向上が可能となるなど期待も高まる。中心部の小学校跡地において、PFI的手法によ

る住環境整備や老人福祉の充実等を求める市民の意向を十分認識し、活用の可能性を前向きに探りたい。

総合歴史博物館を

デジタルミュージアムに

問 デジタルミュージアムの手法を総合歴史博物館（仮称）に生かすため、一体的に整備しては。

答 実物展示と情報展示を組み合わせる手法であるデジタルミュージアムと、内容である総合歴史博物館は融合可能であり、相当の面積を確保できる見込みであることから、包含する方向に進めたい。デジタル化する内容、展示方法等については、専門家による検討が不可欠であり、総合政策審議会の専門委員会設置も視野に入れ、具体的計画をつくっていききたい。

岡山国体開催に向けて

問 岡山国体の競技会場として多目的ドームを活用しては。バトミントン競技を、施設構造上の理由で断念した金光町に代わり、本市で行う考えは。

答 正式競技や全国障害者スポーツ大会での利用要望が出ているため、設計段階から必要な配慮を行い、全国への情報発

信やスポーツ振興にもつなげていきたい。県からの依頼を受け協議した結果、総合文化体育館を予定会場として引き受けたい。



バトミントン競技会場として有力視される総合文化体育館

岡山21

土地改良事業交付金

平成13年度から見直しへ

問 債務負担残高が増大している土地改良事業の借入金元利償還に対する助成の見直し内容は。

答 これまで国のガイドラインによらないで全額を市費で支払っていたが、この方式で市と受益者がそれぞれ一定割合を負担した場合、市の負担分に着信を充当でき、さらにその約六六%が地方交付税として還付される。試算すると本市の実質負担